

1. 事業説明シート

<b>事業名</b>	砂防事業 [通常砂防事業(国補)]		<b>事業箇所</b>	南巨摩郡身延町湯之奥		<b>地区名</b>	下部川(シモベカワ)		<b>事業主体</b>	山梨県																																							
<b>(1) 事業の概要</b> ①課題・背景 本溪流は流域面積18.0km <sup>2</sup> の土石流の恐れが高い溪流である。流域内は山腹崩壊や溪岸浸食が進行し、溪床には不安定土砂、転石が堆積しているとともに、溪岸沿いには立木が密集している。今後の台風や集中豪雨時には、土砂流出、流木による土石流発生の危険が高まっている。保全対象は、第二次緊急輸送道路(県道湯之奥上之平線)のほか、下部病院(用配慮者利用施設)、温泉会館(避難所)、人家140戸、JR身延線等が存在し、土石流が発生すると甚大な災害を引き起こすことが予測される。これまで流域の整備を鋭意進めてきたが、整備率は63%と未だ低いため、砂防堰堤を早急に整備し、土砂災害を未然に防止する必要がある。  ②整備目標・効果 □主要目標 ○土石流被害の防止 ・災害実績 無 ・土砂整備率 63% < 70%※ ・重要公共施設の有無 有 (県道、避難所、要配慮者利用施設) (保全対象=人家140戸、県道 2,600m JR身延線等)  ※評価基準値  □副次目標 ー □副次効果 ○被災時の被害波及防止 ・保全対象に第二次緊急輸送道路(県道湯之奥上之平線)、JR身延線を有する						<b>(3) 事業の妥当性評価</b> ①公共関与の妥当性(行政が行うべき事業か) <span style="float:right">妥当 妥当でない</span> 砂防法第5条に基づいており、行政が行うことが妥当 <span style="float:right">○</span>																																											
						②事業執行主体の妥当性(県が行うべきか) <span style="float:right">○</span> 砂防法第6条に基づいており、砂防管理者の県が行うことが妥当																																											
③経済妥当性 <span style="float:right">○</span>						<table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td>総事業費</td> <td>430 百万円</td> <td>工期</td> <td>R4~R12</td> <td>基準年</td> <td>R3</td> </tr> <tr> <td rowspan="5" style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">経済効率性</td> <td>費用</td> <td>342 百万円</td> <td>便益</td> <td colspan="2">730 百万円</td> </tr> <tr> <td>建設費</td> <td>342 百万円</td> <td>一般資産被害抑止</td> <td colspan="2">110 百万円</td> </tr> <tr> <td>維持管理費</td> <td>百万円</td> <td>人身被害抑止</td> <td colspan="2">266 百万円</td> </tr> <tr> <td></td> <td>百万円</td> <td>公共土木施設等被害</td> <td colspan="2">32 百万円</td> </tr> <tr> <td></td> <td>百万円</td> <td>その他※</td> <td colspan="2">322 百万円</td> </tr> <tr> <td colspan="3">B/C</td> <td colspan="3" style="text-align: right;">2.1</td> </tr> </table> ※その他は緊急対策(家計、人的被害(精神的損失)) 費用便益比(B/C)は1.0を超えており、経済効率性は確保されている						総事業費	430 百万円	工期	R4~R12	基準年	R3	経済効率性	費用	342 百万円	便益	730 百万円		建設費	342 百万円	一般資産被害抑止	110 百万円		維持管理費	百万円	人身被害抑止	266 百万円			百万円	公共土木施設等被害	32 百万円			百万円	その他※	322 百万円		B/C			2.1		
総事業費	430 百万円	工期	R4~R12	基準年	R3																																												
経済効率性	費用	342 百万円	便益	730 百万円																																													
	建設費	342 百万円	一般資産被害抑止	110 百万円																																													
	維持管理費	百万円	人身被害抑止	266 百万円																																													
		百万円	公共土木施設等被害	32 百万円																																													
		百万円	その他※	322 百万円																																													
B/C			2.1																																														
④事業実施・規模の妥当性 <span style="float:right">○</span> 流域の規模、地形、地質等から判断して最も効果的である						⑤整備手法の有効性 <span style="float:right">○</span> 地形・地質及び流域の状況から土石流対策として最も効果的かつ経済的な砂防施設計画とした																																											
⑥環境負荷等への配慮 <span style="float:right">○</span> 掘削法面等に緑化等を施し、環境負荷に配慮						⑦事業計画の熟度 <span style="float:right">○</span> 地元の要望に基づいている																																											
<b>(2) 整備内容</b> ①整備内容 砂防堰堤 1基 H=14.5m L=90.0m  ②着手年度 令和4年度                      ③完成見込年度 令和12年度  ④総事業費 約430百万円(国費215百万円(5/10)県費215百万円(5/10))  ⑤年度別の整備内容 (事業費) 令和4年度 詳細設計 20百万円 令和5年度 用地測量 20百万円 令和6年度 用地取得・立木補償 50百万円 令和7年度 砂防堰堤工事 50百万円 令和8年度 砂防堰堤工事 50百万円 令和9年度 砂防堰堤工事 60百万円 令和10年度 砂防堰堤工事 60百万円 令和11年度 砂防堰堤工事 60百万円 令和12年度 砂防堰堤工事 60百万円						<b>総合評価</b> <span style="float:right">[貢献度ランク:a]</span>																																											
※記載内容は見込みであり、確定したものではない。 ⑥既整備内容・期間・事業費 既整備内容 砂防堰堤 9基 治山堰堤 13基						<b>(4) 事業位置図等</b> 位置図 																																											

## 2. 添付資料シート

